

普及活動情勢報告（令和7年7月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

昔野菜を植えるための準備！ ～昔野菜食育活動 十和小学校～



種取りの様子

6月20日、十和小学校で昔野菜の食育活動（種取り）を行い、児童8名、関係機関14名が参加しました。

農業改良普及所は、準備や種取りの手伝い等を行いました。児童は、地域おこし協力隊や地元生産者から昔野菜の伝統について説明を受けたあと、地元生産者から教わりながら種とりを行いました。

児童からは「植えてから虫が出たらどうすれば良いか」や「収穫後の販売が楽しみ」等の声が聞こえました。

農業改良普及所は、今後も定植から収穫、販売へと繋がるよう、関係機関と協力しながら昔野菜の食育活動を支援します。

安全を最優先に農作業をしよう ～JA高知県四万十枝豆研究会出荷検討会～



防振手袋を試着する様子

6月26日、JA高知県高西営農経済センター販売課で四万十枝豆研究会が出荷検討会を開催し、生産者3名が参加しました。

これから枝豆の収穫と畦畔法面の草刈作業が本格化するため、農業改良普及所は刈払機の安全対策や熱中症対策について説明し、対策グッズを試着してもらいました。

生産者からは「防振手袋は刈払機を使ってみたら効果が分かるかも」「水冷ベストは冷たいね」など対策に前向きなコメントがありました。

今年も高温が続くと予想されるため、農業改良普及所は巡回等で農作業安全を啓発していきます。

夏場の高温対策の方法は？ ～JA高知県四万十ニラ部会総会～



総会の様子

7月1日、JA高知県四万十支所でニラ部会が総会を開催し、生産者42名が出席しました。

農業改良普及所は、昨年実施した遮熱資材のドローンを使った散布結果や高温対策の方法について説明しました。

生産者からは、ドローンで散布する際の費用や手軽にできる高温対策などについて質問がありました。

農業改良普及所は、今後もJAと連携して夏場の高温対策を周知し、高品質なニラの出荷を支援します。

中山間での良質米生産に向けて ～JA高知県幡多地区十和支所水稻栽培講習会～



講習会の様子

7月8日、JA高知県幡多地区十和支所が水稻栽培講習会を開催し、生産者13名が参加しました。

農業改良普及所は高温対策や病虫害防除について説明し、その後肥料農薬メーカー各社から資材の紹介がありました。

生産者からは「高温対策は、まず第一に基本技術の励行が重要であることを再認識できた」「高温対策として、出穂後の間断かんがいに新たに取り組んでみたい」といった声が聞かれました。

農業改良普及所は今後も中山間地域の高品質米生産を支援します。

農福連携マッチング支援 ～カボチャの出荷調製作業体験会の開催～



作業しやすい器具やカボチャを傷つけない工夫を模索する様子

7月18日、四万十町の就労継続支援B型事業所「やまびこ」（以下「事業所」）でカボチャの出荷調製作業の体験会を開催し、関係者や事業所利用者あわせて11名が参加しました。

農業改良普及所は、開催準備やカボチャのヘタ切り作業の確認を支援しました。

事業所からは「想定よりも難しくない作業なので仕事として受託できると思う」と評価され、近日中に作業受託を始める方向でまとまりました。

農業改良普及所は、今後も農福連携のマッチングに向けた支援を行います。